



もしも南海トラフ巨大地震が起きると…

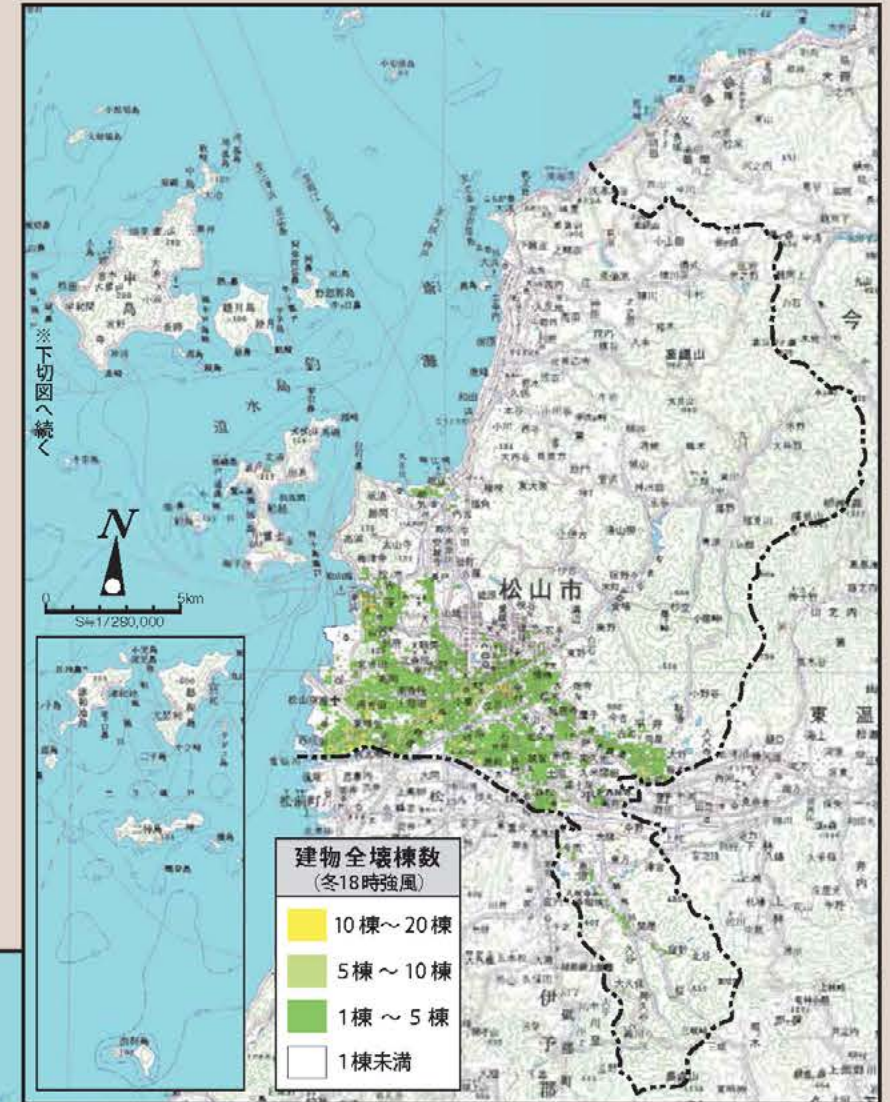
南海トラフ巨大地震(ケース重ね合わせ)の震度分布↓



出典:平成25年 愛媛県地震被害想定調査結果(第一次報告)

揺れが大きいのは地盤の悪いところ

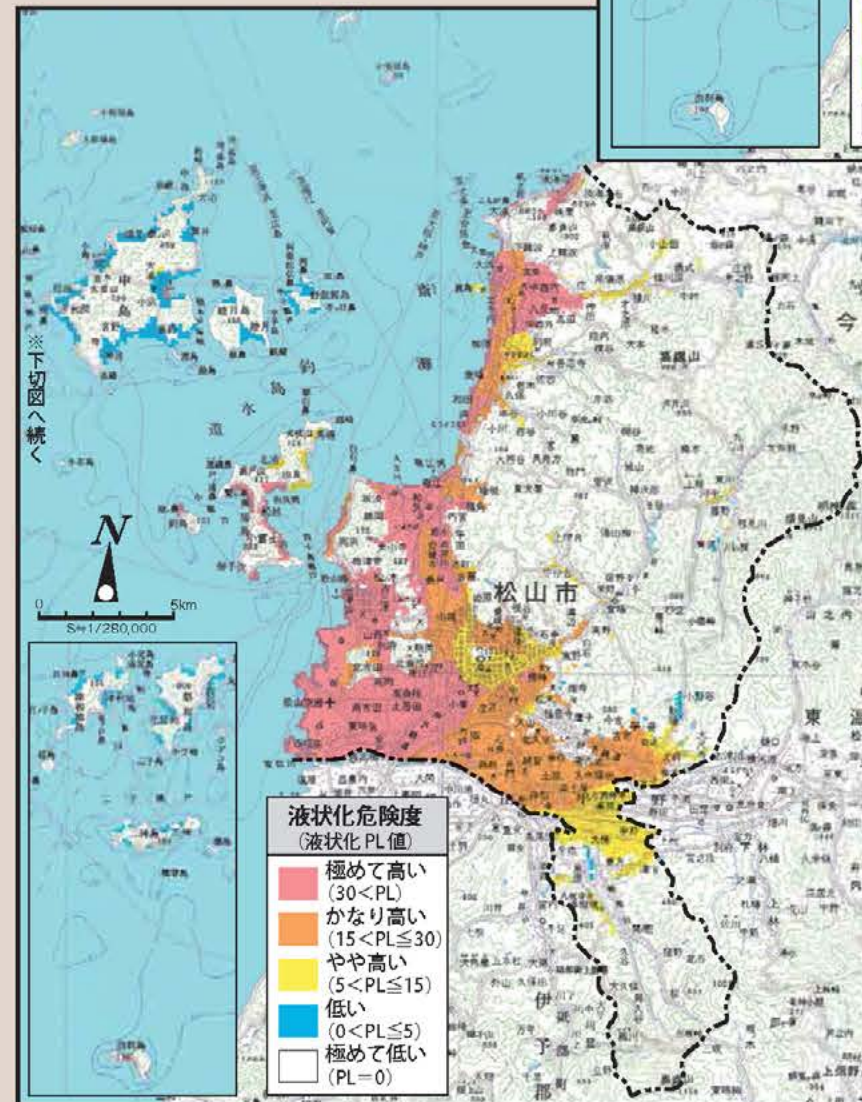
揺れが大きいのは、重信川や石手川などが上流から運んできた土砂が堆積しているところです。古い時代に堆積した土砂は締まりがありますが、新しく堆積した土砂は強度が低く、旧河道の地域も地盤が悪いので、揺れが大きくなります。



出典:平成25年 愛媛県地震被害想定調査結果(第一次報告)

↑ 南海トラフ巨大地震(陸側ケース)の揺れによる建物被害(冬18時強風)

南海トラフ巨大地震(ケース重ね合わせ)の液状化危険度(PL値)分布



出典:平成25年 愛媛県地震被害想定調査結果(第一次報告)

愛媛県地震被害想定調査では、深さ20mまで未固結堆積物がある地盤を抽出し、地下水位を一律に地表面下1mと仮定して液状化危険度(PL値)を予測しています。

液状化の危険性が高いのは、海岸低地部や埋立地、河川沿いの低地部など、地表の地盤がやわらかい土(特に砂質土)でできている地域です。なお、危険度が高い領域のすべてが液状化するというものではなく、また、危険度が低い領域でも局部的に液状化する可能性があります。